

## 令和6年度 学校運営方針【定時制】

### 【教育目標】

- 1 基礎学力と道徳心を備え、信頼され、社会に貢献できる自立した人間を育成する。
- 2 就業と学業を両立し、自己管理能力と豊かな人間性を備えた人間を育成する。

### 【教育方針】

- 1 基本的な生活習慣の確立とマナー意識の向上を図る。
- 2 学習環境の整備に努め、基礎学力の定着を図る。
- 3 キャリア教育を推進し、勤労観・職業観を育てる。
- 4 特別活動や部活動の活性化を図る。
- 5 自己管理能力の育成に努め、安全指導を徹底する。
- 6 個に応じた教育相談の充実を図る。
- 7 個別最適な学びと協働的な学びを実現するため、ICTを積極的に活用する。
- 8 教育活動全体を通して、自己有用感・自己肯定感を育む指導を心がける。

### 【本年度の重点目標】

#### (1) 基本的な生活習慣の確立とマナー意識の向上

- ① 学校生活の中での生徒指導をはじめとし、「あいさつの大切さ」や「時間やルールを守る」等の社会人としての常識を繰り返し指導する。
- ② 「ありがとう」と言える感謝の心、誤りに対し「ごめんなさい」と言える素直な心を涵養し、自他を大切にし、基本的人権を尊重する精神・態度を育成する。
- ③ 「ことばの大切さ」を指導するとともに、「いじめ」や、安易な情報通信機器の使用から生じる人権侵害の未然防止に努める。

#### (2) 基礎学力の定着と学習環境の整備

- ① 生徒個々のつまずきを把握しながら、スモールステップで、基礎学力の定着を図る。
- ② 生徒の「わかる」経験や喜びを増やすことを基本とし、より深く考えより広く学ぶ意欲を高める。
- ③ 「できる」ことを認め、褒めることで、「できなかったこと」に挑戦し、理解する態度を養う。

#### (3) キャリア教育の推進と進路指導の充実

- ① 自己の在り方・生き方を考えさせ、望ましい職業観や勤労観を育成する。
- ② 自己の適性を知り、それぞれが将来の自分を思い描き主体的に進路選択（自己決定）ができるように支援する。
- ③ 生徒個々の状況を把握しながら、教科学習や総合的な探究の時間、特別活動で学んだことを統合し、社会で生きていく自覚を涵養する。

#### (4) 特別活動への積極的な取り組みと部活動の活性化

- ① 自主・自律の精神を養うとともに、公共心・公正さ・思いやりの心を育成する。
- ② 集団活動を通して、より良い人間関係を築こうとする態度を育成する。
- ③ 心身を鍛えるとともに、学年や学校を越えた交流を通し、豊かな人間性や社会性を育成する。

(5) 健康と安全指導の充実

- ① 「生命の大切さ」を繰り返し指導するとともに、事件・事故の未然防止に努める。
- ② 環境整備・安全点検を心がけ、心身ともに快適な「居場所」づくりに努める。
- ③ 「自分の健康は自分で守る」ことができる自己管理能力の育成を図る。
- ④ 食物アレルギー等の情報を共有する。
- ⑤ 交通安全意識を高め、マナーの向上と交通事故の防止に努める。

(6) 教育相談の充実

- ① 各学期に実施する面談等を通して、生徒の状況把握に努める。
- ② 組織的な教育相談体制により、個に応じたきめ細やかで迅速な対応を行う。
- ③ 登校時指導や授業時の様子等を共有し、教員全員の目で見守り指導支援を行う。

(7) 個別最適な学びと協働的な学びの実現

- ① ICTを積極的に活用して、個別最適な学びと協働的な学びを実現する。
- ② デジタル学習支援環境を整え、災害等の状況下でも学習が継続できるようにする。

(8) 自己有用感・自己肯定感を育む指導

- ① 上記(1)~(7)を実現するために通底する基本的な目標。